

(第2号様式)

八特第 1875号
令和7年 3月 6日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立八重山特別支援学校
校長 稲田 洋一
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月11日	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4名、学校側(7名)
第2回	日時	令和6年12月24日	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4名、学校側(8名)
第3回	日時	令和7年2月26日	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4名、学校側(5名)

2 学校評議員に求めた事項

第1回	校長の学校経営方針説明、教育課程、授業見学、就業体験、教育支援コーディネーターの話の聞き意見及び助言を頂く。
第2回	各学部、寄宿舎の教育活動の様子を画像や動画で視聴するとともに、進路指導の様子や授業を参観し意見及び助言を頂く。
第3回	3学期の教育活動、新聞掲載記事、進路決定状況、学校評価について説明を聞き、意見や助言を頂く。

3 学校評議員の意見

M委員	キャリア教育及び共同及び交流学习においては継続した取り組みを行って頂きたい。また、就業体験の取り組みの充実強化をお願いしたい。
I委員	寄宿舎を見学したが、自立に繋がる良い指導を行っていると感じた。
S委員	生徒たちの社会との関わりも大事であるが、卒業生との関わりも大事にして頂きたい。
K委員	職業に関わる授業においては、報告・連絡・相談の指導をしっかりと行って頂きたい。

4 学校運営に反映した事項

①	キャリア教育の充実を目指し八重山特支と美ら花グループとの協力協定を結んだ。これにより生徒の実習がスムーズに行えるようになり、専門の方からの技術提供や使用する専門用具の貸与が可能となった。
②	コロナ流行後活動が停止していた卒業生の会「ホルトの会」活動を本格的に再開させたことで、卒業生と在校生の繋がりが増え良い関係性が構築されつつある。
③	八重山地区4校で交流学习検討委員会が発足し、特別支援学校と他3校との交流が行われ、共生社会構築に向相互理解が進んでいる。

5 課題その他

特になし
